

平成 22 年度事業報告

I 概況

リーマンショック以来、低迷が続いた主要再生資源市況は、中国の活発な経済活動や国内景気の回復感とともに、品目間格差はあるものの徐々に復調してきた。しかし一方で財政が逼迫する行政によるリサイクル事業見直しの兆し、後を絶たない再生資源の持ち去り等、円滑な循環型社会を築くうえでの重要課題は多い。

当年度はとりわけ長年の課題であった古紙の持ち去り問題について、当協会の呼びかけに応じて東京都環境局が「古紙持ち去り問題対策協議会」を設置。関係諸機関が一同に会して課題を整理することにより実効性のある対応策について一定のとりまとめをすることができた。今後は社会をあげて関係諸機関による情報共有を含めた連携協力を前提に、各機関の取り組みを実施していくものである。

また近年において当協会は、都や区市等の関係諸機関から都内のリサイクル業界としての意見や調査研究の成果を求められるようになってきた。例えば東京都の廃棄物処理計画の改訂にあたっては廃棄物審議会の委員として参加し、リサイクル実務業界の意見を反映することができた。また東京二十三区清掃一部事務組合からは政策形成過程におけるヒアリングの依頼や、スチール缶リサイクル協会からは協働型リサイクルシステムの構築についての考え方、その他、都内の行政機関を中心に持ち去り問題への対応や、会員事業者の信頼性についての照会依頼もあった。

3月に発生した東日本大震災では戦後最大の災禍が東北地方にもたらされた。今般当協会は、東京都知事から災害ごみ撤去に関する支援要請を受けた。そこで本件に人員・車両派遣の支援のみならず、あらゆる支援に努めていくことを3月の定時総会で確認されたところである。

東京のリサイクルの質を高めるシステムを構築することが当協会の最大の目標である。協会内部のみならず行政をはじめとした関係諸機関との連携・協力をいっそう強化し、これからも地道に公益事業の展開を図っていくものである。以下に平成 22 年度に実施した個別事業を報告する。

II 個別事業

1 再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業

都民・行政・リサイクル関連業界及び当協会会員向けに次の調査研究活動を行った。

(1) 効率的・持続安定的なリサイクルシステム整備の調査

行政回収において民間の力を効率的・持続的に発揮させるリサイクルシステムのあり方

を検討するために、23 区内の古紙回収事業の受託者選定方法に関する事例を調査し、入札制度の課題と整理を行った。

(2) 再生資源持ち去り防止策の具体的検討

東京都環境局に持ち去り対策への広域対応を呼びかけ、「古紙持ち去り問題対策協議会」(3回開催)を設置していただいた。これにより都・区市町村・製紙メーカー・古紙再生促進センター・回収問屋業界・警視庁が一同に会し、持ち去り根絶に向けた実効性のある対応策をとりまとめることができた。今後の関係諸機関による具体的な取り組みと関係者間の情報共有方策の道筋も明らかとなり、社会をあげた持ち去り防止策の展開に期待がかかる。

(3) リサイクル業界の連携強化策の検討

リサイクル業界の社会的発言力を高め、専ら物を中心とする各組織を連携強化するための母体づくりの検討を平成 21 年度より開始した。当年度は、神奈川県 R 団連の会合に参加したり、横浜市資源リサイクル事業協同組合の普及啓発事業へ協賛したりと協力連携関係の強化を図った。

(4) 小規模事業所における古紙リサイクルシステム(東商エコリーグ)の調査

<東京商工会議所受託事業>

東京商工会議所とタイアップし平成 7 年より展開してきた、小規模オフィス等における古紙回収システムの情報収集と回収量のとりまとめを実施した。(21 年度報告書を平成 22 年 6 月に発行し、HP で公開)

(5) 国内外におけるリサイクル事情の調査

国内外におけるリサイクル実践都市への視察を通じて、リサイクルシステム構築の工夫や再生資源流通の動向等について情報収集するための調査研究を行った。

① 仙台視察会(11/4~11/5、訪問先:日本製紙(株)石巻工場、JFE 条鋼(株)仙台製造所、新港リサイクル(株)、仙台市、仙台市松森資源化センター 参加者:16名)

なお海外視察会はバンコクを予定していたが今年度は実施しなかった。

(6) 新聞整理袋に関するルール徹底の要望

東京都が組織した「新聞リサイクル推進会議」新聞リサイクルのルールを徹底するため、市民等から紙製からビニール袋への変更等について苦情があり次第、適宜、当該新聞販売店の本部に対して、問題地域への改善要望を行った。

2 再生資源リサイクルに関する研修事業

会員および各行政機関等に対して、都内各地のリサイクルの現状や課題等を情報収集する場を提供するため、地元会員団体・行政・市民団体の協力を得て、「地域懇談会」を開催

した。今年度は各回とも首長から講演をいただくなど、行政との連携関係の強化ともなった。

- ① 日野市地域懇談会「日野市のリサイクル施策の現状と課題について～ごみ改革の経緯と今後の展望～」協力：日野市資源リサイクル事業協同組合（4/12、場所：日野市役所 505 会議室、参加者：84 名）
- ② 小平市地域懇談会「小平市のリサイクル施策の現状と課題について」協力：東多摩再資源化事業協同組合（12/15、小平市中央公民館学習室、参加者 54 名）

3 再生資源事業を行う者に対する相談指導事業

都内におけるリサイクルの全体状況等を把握し、業界関係者への相談・指導に役立てるために、東京都環境局と「東京都の静脈ビジネスに関するヒアリング」の情報連絡会（7/23、都庁第二庁舎 9A 会議室）を開催した。また 2/28 は東京二十三区清掃一部事務組合の要請により、「ごみ処理手数料の改定についてのヒアリング」を実施（場所：東資協会会議室）した他、3/7 にはスチール缶リサイクル協会と「集団回収についての意見交換会」（場所：三弘紙業株式会社会議室）を実施した。また全会員団体に対して、「集団回収マニュアル～協働型集団回収のすすめ～」（スチール缶リサイクル協会）と「東京の資源循環 2010」（東京都環境局）を配付した。

4 再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業

(1) リサイクルフォーラムの開催

東京・多摩リサイクル市民連邦との共催で「TAMA とことん討論会 in 東村山」を開催した。テーマは「東村山のごみ問題と再生資源業界の現状」（1/30、場所：東村山市民センター 参加者：約 150 名）

また、都民・事業者・行政・協会会員等を対象に、再生資源流通に関わる諸課題やリサイクル動向・効率的なリサイクル事業のあり方などをテーマにした「フォーラム」には、「古紙持ち去り問題対策協議会」の成果を生かす取り組みを企画していたが、3月の東日本大震災の影響により当年度は開催を見送った。

(2) リサイクル職場体験学習の実施

東多摩再資源化事業協同組合と協力し、東村山市立第二中学校 1 年生を対象に、回収車に同乗して行なう回収作業や選別ヤードでの作業体験、リサイクル講習会を開催した。（2/8～10、参加者：14 名）

(3) エコプロダクツ 2010 の出展

（財）古紙再生促進センターの協力のもと、「エコプロダクツ 2010」に（社）東リ協会のパネル展示・広報誌・リーフレットの配布を行なった。（12/9～11、場所：東京ビックサイト東展示場、イベント全体訪問者：約 18 万 3,000 人）

(4) 東京都消費者月間事業交流フェスタ出展

消費者問題の解決を図ろうと、都内の消費者団体と東京都の協働により開催。環境エリアに出展し、古紙回収のポイントを問題にしたクイズラリーの他、パネル展示・広報誌・リーフレットの配布を行なった。(10/15～16、場所：新宿西口広場イベントコーナー、広場訪問者：約2万6,000人)

(5) セミナーへの講師派遣

日本創造経営協会の依頼により、6/1に「都内のリサイクル現状と課題」について講演を行った。講師：永田博孝氏（(社)東リ協会広報委員長）場所：日本創造経営協会（文京区本郷）

(6) ホームページの更新

ウェブサイトを通じて、協会の活動や会員情報、広報誌・報告書の掲載等を行なう他、会員専用サイトでは協会事業情報を提供する。年6回記事を更新した。

5 機関誌の発行事業

都民・事業者・行政・協会会員を配布対象に、当協会のPRとリサイクル推進への理解と協力を求めるために、リサイクル情報誌「WE♥りさいくる」第18・19号を発行した。（各7,000部）主な記事は以下のとおり。

- ① 第18・19号（1/11発行）「H22 リサイクル10大ニュース」「再生資源市場の近況」「日野市地域懇談会報告」他

以上

決算報告書

第 4 期

自) 平成 22年 4月 1日

至) 平成 23年 3月 31日

<決算書類及び財産目録>

収支計算書	1
正味財産計算書	4
貸借対照表	5
計算書類に対する注記	6
財産目録	7

社団法人 東京都リサイクル事業協会

平成22年度収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

勘定科目		決算額			備考(千円)			
		大	中	小科目		補正予算額	決算額	差異
1				入会金収入	0	0	0	
	1			入会金収入	0	0	0	
2				会費収入	13,045,000	13,563,300	518,300	
	1			正会員会費収入	5,955,000	5,940,000	△ 15,000	広域(8):@360×7、@120×1 地域(22):@100×1、@120×12、@135×1、@150×3、@180×2、@210×1、@240×2
	2			協賛会員会費収入	3,120,000	3,000,000	△ 120,000	@120×25
	3			賛助会員会費収入	500,000	500,000	0	@40×11、@60×1
	4			一般賛助会員会費収入	1,100,000	1,100,000	0	@50×22
	5			特別会費収入	2,370,000	3,023,300	653,300	
		-1		調査研究関連	900,000	825,000	△ 75,000	仙台視察会
		-2		研修関連	1,110,000	1,174,900	64,900	地域懇談会2回、情報連絡会、フォーラム等
		-3		普及啓発関連	360,000	777,000	417,000	広報誌協賛・関連団体シンポ協賛
		-4		その他	0	246,400	246,400	会議室支援等
3				事業収入	300,000	380,000	80,000	
	1			再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業	300,000	300,000	0	東商エコリーグ調査委託
	2			再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業	0	80,000	80,000	日本創造経営協会講師派遣、原稿料
4				寄附金	0	0	0	
	1			寄附金	0	0	0	
5				補助金等収入	0	0	0	
	1			東京都補助金収入	0	0	0	
6				雑収入	2,000	12,468	10,468	
	1			受取利息	2,000	2,468	468	
	2			雑収入	0	10,000	10,000	
当期収入合計 (A)					13,347,000	13,955,768	608,768	
前期繰越収支差額 (B)					4,971,000	8,499,603	3,528,603	
収入合計 (C)					18,318,000	22,455,371	4,137,371	

Ⅱ 支出の部

勘定科目		決算額			備考 (金額単位:千円)	
大	中	小科目	補正予算額	決算額		差異
1	事業費		7,431,000	7,239,642	△ 191,358	
1	事業に係る人件費		4,256,000	3,882,300	△ 373,700	事務局雑給含む
2	再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業		1,310,000	1,195,915	△ 114,085	
	1	報酬	0	0	0	
	2	会議費	30,000	133,030	103,030	
	3	通信運搬費	30,000	12,680	△ 17,320	
	4	印刷製本費	150,000	74,901	△ 75,099	
	5	研究開発費	900,000	878,794	△ 21,206	仙台視察会
	6	雑費	200,000	96,510	△ 103,490	交通費・「民力2010」
3	再生資源に関する研修事業		850,000	756,241	△ 93,759	地域懇談会(日野市・小平市)
	1	会議費	800,000	732,430	△ 67,570	
	2	消耗品費	15,000	0	△ 15,000	
	3	旅費交通費	20,000	19,130	△ 870	
	4	印刷製本費	5,000	4,681		
	5	雑費	10,000	0	△ 10,000	
4	再生資源事業を行う者に対する相談指導事業		550,000	598,230	48,230	情報交換会(東京都・23区・関連団体・内部)
	1	会議費	500,000	573,776	73,776	
	2	通信運搬費	15,000	10,410		
	3	印刷製本費	30,000	14,044		
	4	雑費	5,000	0	△ 5,000	
5	再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業		211,000	573,981	362,981	
	1	会議費	8,000	2,645	△ 5,355	消費者月間環境フェア出展
	2	印刷製本費	48,000	105,767	57,767	リーフレット(87)
	3	新聞図書費	0	4,699	4,699	H22年版環境白書・データ集
	4	通信運搬費	5,000	49,370	44,370	エコプロ出展物搬送等
	5	雑費	150,000	411,500	261,500	(東京12、多摩16、横浜2、消費者3)HP改訂外注(80)
6	機関誌の発行事業		254,000	232,974	△ 21,026	
	1	印刷製本費	164,000	164,325	325	広報誌18・19号
	2	通信運搬費	80,000	68,649	△ 11,351	広報誌DM発送費等
	3	雑費	10,000	0	△ 10,000	
7	顕彰及び表彰に関する事業		0	0	0	
	1	会議費	0	0	0	
	2	通信運搬費	0	0	0	
	3	物品費	0	0	0	
8	その他法人の目的を達成するために必要な事業		0	0	0	
	1	会場費	0	0	0	
	2	印刷費	0	0	0	
	3	通信運搬費	0	0	0	
	4	雑費	0	0	0	

勘定科目			決算額			備考
大	中	小科目	補正予算額	決算額	差異	
2		管理費	5,720,000	4,786,528	△ 933,472	
	1	役員報酬	270,000	190,000	△ 80,000	
	2	給料手当	2,000,000	1,574,100	△ 425,900	事務局雑給含む
	3	福利厚生費	0	0	0	
	4	会議費	150,000	110,716	△ 39,284	総会・理事会等室代・お茶代含む
	5	旅費交通費	200,000	198,660	△ 1,340	
	6	通信運搬費	368,000	343,850	△ 24,150	
	7	荷造発送費	261,000	179,860	△ 81,140	郵券、総会・理事会等発送
	8	新聞図書費	53,000	52,596	△ 404	日経新聞
	9	消耗品費	200,000	130,979	△ 69,021	文具・事務用品、PC用品等
	10	修繕費	20,000	0	△ 20,000	
	11	印刷製本費	500,000	374,506	△ 125,494	コピー、用紙、封筒印刷等
	12	水道光熱費	107,000	94,931	△ 12,069	
	13	地代家賃	882,000	882,000	0	
	14	租税公課	73,000	73,000	0	
	15	支払手数料	40,000	21,830	△ 18,170	
	16	諸会費	15,000	15,000	0	東京商工会議所年会費
	17	交際費	150,000	248,500	98,500	都議会民主党(60)顧問(15)会員弔事等
	18	税理士報酬	231,000	231,000	0	
	19	雑費	200,000	65,000	△ 135,000	協会ロゴ製作費(5)
勘定科目			決算額			
大	中	小科目	予算額	決算額	差異	
3		固定資産取得支出	0	0	0	
	1	計器備品購入支出	0	0	0	
4		特定預金支出	0	0	0	
	1	事業運営資金積立金	0	0	0	
5		雑損失	0	0	0	
	1	雑損失	0	0	0	
6		予備費	196,000	0	△ 196,000	
	1	予備費	196,000	0	△ 196,000	
当期支出合計 (D)			13,347,000	12,026,170	△ 1,320,830	
当期収支差額(A) - (D)			0	1,929,598	1,929,598	
次期繰越収支差額(C) - (D)			4,971,000	10,429,201	5,458,201	

正 味 財 産 計 算 書

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 増加の部			
1、資産増加額			
当期収支差額	1,929,598		
	0		
2、負債減少額	0		
増加額合計		1,929,598	
II 減少の部			
1、資産減少額			
当期収支差額	0		
2、負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額		1,929,598	
前期繰越正味財産額		8,499,603	
期末正味財産合計額		10,429,201	

貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	53,186	
普通預金	6,859,255	
定期預金	1,812,740	
未収入金	2,140,000	
仮払い金	85,000	
流動資産合計		10,950,181
2 固定資産		
什器備品		
工具器具備品	0	
固定資産合計		0
資産合計		10,950,181
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金	489,060	
預り金	31,920	
仮受金	0	
流動負債合計		520,980
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		520,980
III 正味財産の部		
正味財産額		10,429,201
(内当期正味財産増加額)		1,929,598
負債及び正味財産合計額		10,950,181

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、仮払い金、未払い金、前受金および預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	7,327,613	8,725,181
未収入金	1,768,750	2,140,000
仮払い金	85,000	85,000
合計	9,181,363	10,950,181
未払金	639,785	489,060
前受金	0	0
預り金	41,975	31,920
合計	681,760	520,980
次期繰越収支差額	8,499,603	10,429,201
固定資産	0	0
正味財産	8,499,603	10,429,201

3. 固定資産の取得価格、固定資産除却額および当期末残高はない。

科目	取得価格	固定資産除却額	当期末残高
-	-	-	-
-	-	-	-

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	現金 現金手許有高	53,186	
	普通預金 三菱東京UFJ銀行上野中央支店	6,859,255	
	定期預金 三菱東京UFJ銀行上野中央支店	1,812,740	8,725,181
	未収入金		
	会費	1,390,000	
	事業費(東商エコリーグ等)	378,750	1,768,750
	仮払い金		
	海外視察会現地費用未精算分	85,000	85,000
	流動資産合計		10,578,931
2	固定資産		
	什器備品		
	工具器具備品	0	0
	固定資産合計		0
	資産合計		10,578,931
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払い金	489,060	
	預り金 源泉所得税・住民税	31,920	
	流動負債合計		520,980
2	固定負債		
	固定負債合計	0	0
	負債合計		520,980
	正味財産		8,649,333